

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンター わっか		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 12月 6日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別的な関わりをしっかりと持つことで、お子さんと一緒にご家庭ではなかなか難しい経験（公共交通機関の利用、市街へのお出かけ、調理・お菓子作り）などを行うことができる。	お子さんの「やりたい」「また行きたい」という気持ちを大切にしている。ご家族様の「こういう経験をしてほしい」という意見を考慮し、どうしたら実現できるのかを前向きに検討している。	お子さんとご家族様が安心してもう一步先へ踏み出せるような関係づくり。「できた!」「楽しい!」という感情を大切にし、成人してから楽しみのひとつとできるような活動を増やしていく。
2	ご家族様ともしっかりと話をする時間が設けられている。法人で、入所支援・GH・生活介護・相談支援等々、様々な事業を営業していることから、お困り事やご家族様の悩み事に対応しやすいと考える。	お子さんの様子だけでなく、送迎時を中心にご家族様も気になるご様子があればそのままにせずこちらから「どうされましたか」とお伺いするようにしている。必要に応じてお時間をいただき、面談や電話面談をしている。	茶話会や保護者会を定期的に（せめて年に一回）行い、ご家族様同士の横のつながりを増やしていく。保護者・支援者だけでは言い難い、解決できないことを同じ悩みをもつご家族様同士で話し合える場を提供していく。
3	事業所周辺の環境が良く、戸外活動がしやすい。外が好きなお子さんも多く、気持ちの充足にも繋がっている。	気候の良い日には外でしっかりと体を動かせるようにしている。休日や短縮日課の日には大きな公園にも出向くようにし、よりしっかりと体を動かす機会を設けている。	反面、室内での活動に職員の苦しさがある。室内でも体を動かすような工夫や、反対に落ち着いてできる活動を考えていく必要がある。例年、月替わりで活動を考えているが、一度行った活動はそれきりであることも多く、繰り返し行うことや少し変化を加えて行うなどしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族様向けの研修やごきょうだい様の交流会が設けられていない。	ご家族様やごきょうだい様が求めている研修内容、交流について理解できていない。	簡単なアンケートや面談でニーズを聞き取る必要がある。法人全体の行事として、今年度より秋祭りが再開している。今回はそちらにご利用していただいているご家族様たちにも参加していただけた。法人の母体としては成人の入所支援施設であるため、行事に参加して頂き、まずはこういった施設であるのかを見ていただくのも良いと思われる。
2	地域のお子さんとの交流がほとんどない。	同じ環境が落ち着くお子さんも多く、なかなか活動の設定に踏み切れない。ご家族様からのご要望も出ていない。	重度の知的障害、自閉症スペクトラムのお子さんがほとんど。ご家族様からのニーズは少ないものの、お子さんにとってはいろんな方と交流する機会は必要である。まずは我々職員が交流の機会を奪わないようにすべく、前向きな検討が必要。児童館などでの交流は難しいが、法人のイベントとして、地域の高校生や大学生が参加して頂くこともあるため、そういったイベントに参加していただくところから始めていくなどしていきたい。
3	外部評価を受ける機会がない。	例年課題に挙がっており、改善に至らず。	来年度は第三者評価を一度受けられる機会が持てるようにしていく。